

限りない未来をめざして

9月28日

合併10周年

記念式典を挙行

昭和31年9月28日、八条、潮止、八幡の三村が合併し八潮村が誕生してから、今年が丁度10年目になります。

村から町に建設の槌音と共に歩んだ10年を回顧し、更にまた、将来の飛躍と理想的な田園都市の建設に備えるために町ではこれを記念して、広報「やしお」10年のあゆみを全戸に配布する出版事業を行なうほか、中学校体

本日こすことは私の終生忘れ得ぬ感激でここに県知 あります。

事殿はじめ 昭和三十一年九月、合併促進法め、来賓 の時限において、八潮村が誕生し多数ご参 爾来、いく多の難関を乗り越え漸列のもと 次進展の方向を辿りつつ歩みを共に、合併 にいたしてまいりました10周年を た町の皆様方のご援助迎え記念 とご協力に対し心から式典を挙 感謝申し上げますと同行できま 時に本日のお喜びを申し上げます



育館に町内外多数の方々にご出席いただき、意義深い八潮町合併10周年記念祝賀式典が催されました。

10年のあゆみの概要は要約して、各戸にお配りした冊子でお知らせしましたが、さらにまた、あらたな気持ちで明るい豊かな郷土を作るための、前進を続けたいものです。

扱、合併後の十ヶ年を回顧いたしますとき、不肖、私は「経済をはなれた政治もなければ道徳もない」との一貫した故田中四一郎翁の教訓をうけつぎ、この信条をもってひたすら自主財源の

明るく豊かな郷土を

町長 恩田理三郎

確立を主眼として、住民福祉の増進を念願してまいりました。

ご案内の出版物「やしお」10年のあゆみを通じて、行政進路の一端を推察いただけるかと存じますが、純農村から漸次、商工併行の村づくりに邁進し、去る昭和三十

九年十月、町制施行と共に首都近郊産業開発地域に前進いたしましたことは、私の最も喜びとし、あらためて祖先首長、ならびに先輩

前進の結果、現時点において、大工場三百有余、人口二万二千、世帯四千八百余におよび、経済規模も一般、特別会計を含み、合計二億八千五百万円を示し、町の前途はいよいよ洋々たるものがある

と確信する次第であります。私は、あらためて過去10ヶ年を深く反省し、今日までご鞭撻を賜りました県知事殿はじめ、国、県議会議員、ならびに関係機関のみなさまに厚くお礼を申し上げます。

さらに、本日ここに列席いただきました町内公職者各位、そして表彰申し上げますみなさまは、数々の困難と障害に屈せず自己の利害を越えて、公共の福祉に先んじ貢献された方々でありまして、ご指導、ご協賛に対して深く感謝の意を表し、今後ますますご自愛ご自重の上、一層のご活躍をお願いいたします次第であります。

今後、近代的な明るい大八潮町の建設のため、住民総親和の思想を強化し、挙町一致団結、広域都市計画の樹立に併行して、いく多算積しております当面の問題に、最大の努力を傾注し前進いたす所存でございますので、何とぞ皆様

のご鞭撻を切に願ひいたし、八潮町の繁栄と住民各位のご健勝を心から祈念して式辞といたします。